



<b>第49回 通常総会</b> .....	2
「会長挨拶」 .....	富田 薫 2
「議事録」 .....	4
「記念講演：世界の構造転換と日本産業の未来」 .....	寺島実郎 6
「懇親パーティー」 .....	8
<b>話題の技術</b> 「最新機種と工程集約事例の紹介」 .....	オークマ(株) 神谷 豪士 14
<b>リレー随筆</b> .....	黒田精工(株) 塚田 直樹 16
<b>工作機械と私</b> 「私の転機」 .....	日本産商(株) 船井 慎也 17
<b>スポーツ名場面</b> .....	(株)三機商会 菊池 健司 18
<b>私の読書評</b> 「言葉にできる”は武器になる」 .....	ユアサ商事(株) 朱 焯 19
<b>議事録</b> 「理事会」「西部、中部 正・副会員懇談会」 .....	20
<b>SE教育</b> 「平成30年度SE教育「基礎講座」実施報告」 .....	24
「平成30年度 SE 講座・更新研修 講師打ち合わせ会」「合格者」	
<b>ひとくち豆知識</b> 「品質管理の豆知識」 .....	(株)ミツトヨ 小林 博厚 28
<b>私の好きなお店</b> 「尾久(おく) 駅周辺の旨い店」 .....	(株)NaITO 薄井 芳博 30
<b>初めての〇〇</b> .....	西川産業(株) 大畑 勝久 31
<b>海外だより</b> .....	Makino China Co.,Ltd. 川村 豪洋 32
<b>統計資料</b> 「FA 流通動態調査1」「マシニングセンタ・NC 旋盤動向」 .....	34
「工作機械業種別受注額」	
<b>消息・行事</b> .....	36

SE資格者にご回覧下さるようお願いします。

# 会長挨拶



---

日本工作機械販売協会 会長

**富田 薫**

(株)トミタ 取締役社長

---

第49回通常総会は皆様のご協力のもと、無事終了しました事をご報告致します。  
皆様におかれましては、日工販に対し日頃よりご支援とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

工作機械の受注について述べさせていただきます。昨年は工作機械の暦年の受注が1兆6456億円で史上最高の数字でございまして内需も6300億円弱ということで、久しぶりに6000億円を超えた良い数字がでたわけでございます。(一社)日本工作機械工業会の今年(暦年)の年初の受注予測は1兆7000億円までいくのではないかと数字ですが、1月から4月の受注統計を見ておりますとそれより大幅に超えそうであります。(一社)日本工作機械工業会総会の後の懇親会で飯村会長様が1兆7000億円以上のことは言われなかったのでこの業界は堅いのかなと思ったわけですが、多分私は勢いから言いますとそれより超えるのかなと思う訳であります。

自動車業界の話をしてますとCO<sub>2</sub>削減、環境等の基準がどんどん厳しくなり自動車もこれから随分変わってくるのではないかと思います。EV化がこれから日本の大きな課題でありますし、普通のガソリン自動車につきましてもミッション等変わってくるのではないかと思います。我々はいろいろなことを対応しなければいけないというのが実情であります。

我々の工作機械業界ですがIoTが大企業から始まりまして今中小企業にも導入され始めまして、IoTをこれからどうやって生かしてゆくのが我々の大きな課題であります。また人手不足の問題もありまして自動化、省力化も課題であります。

観点の違う話でございますが、テレビを見ておりますとアマゾンについてアメリカの家庭でどうやって購入するのかを放送しておりますと驚いたのはマイクとスピーカーとユニットのようなものがありまして、それに向かってしゃべるとAIになっておりましてコピー用紙を買いだいたいとなれば、あなたは何月何日にこれだけの枚数を買いましたが同じものでよろしいのですか、とAIが答えるわけでございます、たぶん我々の業界にもAIの販売方法というものがどんどん浸食されてくるのは間違いなくきていると思われまます。

そういったことに対応するため日工販でどうやって対処しなければならないかといいますと、それに対応できる営業マンの育成が一番大きな課題であると我々は認識しております。日工販メンバー社員の方々がレベルアップをしていただくために我々日工販としていくつかの講座がありましてレベルアップへのお手伝いができると考えております。

我々の事業の一番大きなものが教育事業でございます。基礎講座、SE講座、更新講座等を定期的に行っておりますのでそれをより充実させたいと思っております。また、経済産業省さんジェトロさんとタイアップしていろいろな勉強会も行っております。そういったものを含めまして今後とも充実させていきます。

また我々としましては地域のいろいろな情報交換会、メーカーさんとタイアップした新製品の勉強会等を地域で行っております。地域交流というものもより密にしたいと思っております。

(一社)日本工作機械工業会様をはじめ多くの団体様との交流会も行っておりそれも密にしていきたいと思っております。また海外の業界団体とも交流を行っておりそれを皆様方に情報提供しております。

日工販としましてはお客様、メーカー様からより信頼される日工販を目指しますので今後とも是非皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 議事録

日 時：平成30年6月4日(月)

13:10~13:45

場 所：第一ホテル東京

## 【議 事】

### 1. 開会

宇佐美専務理事が進行係となり、「総会次第」に従い議事を進めた。

### 2. 総会の成立

宇佐美専務理事より「本日の出席社48社(48名)です。うち議決権行使者は48名、有効な委任状提出31社、合計79社であり、現在の在籍正会員数は79社につきこの総会は定款の定めにより成立する。」旨報告した。

### 3. 会長の挨拶

富田会長より、「会員各位のご協力をいただき只今から上程議案の審議をお願いいたします。」との開会の挨拶があった。



<b>日本工作機械販売協会</b> <b>第四十九回 通常総会</b> 平成三十年六月四日(月) 第一ホテル東京	
<b>総会次第</b>	
一、開会 一、会長挨拶 一、議長選出 一、議案審議 第一号議案 平成二十九年度事業報告 並びに決算承認の件 第二号議案 平成三十年度事業計画案 並びに予算承認の件 第三号議案 副会長承認の件	一、閉会 記念講演 演題 「世界の構造転換と 日本産業の未来」 講師 日本総合研究所 会長 TBS 承継進歩番組 コメンテーター 寺島 実郎 氏

#### 4. 議案の審議

定款第14条に従い富田会長が議長に就き、第1号議案から第3号議案まで審議の結果、それぞれ次の通り承認された。

##### (1) 第1号議案 平成29年度事業報告並びに決算案承認の件

- ①議長が事業報告書の「概要」を述べた。
- ②専務理事が「決算報告書」の説明を行った。
- ③議案の審議に先立ち議長は監事に対し監査結果の報告を求めた。
- ④監事を代表して山本監事から「平成29年度の収支計算書、貸借対照表、諸帳簿、証憑を監査した結果、適正であることを認める」旨報告があった。
- ⑤議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。



山本監事

##### (2) 第2号議案 平成30年度事業計画案並びに予算案承認の件

- ①議長が事業計画案を提示、専務理事から平成30年度の予算案作成にあたって予算案の説明を行った。
- ②議長が本件について出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

##### (3) 第3号議案副会長の件

議長より高林副会長退任により、後任候補として依田理事の選出を出席者に諮り全員異議なく原案通り承認された。

#### 5. 議長挨拶

議長は、以上をもって全議案の審議が終了したことを告げるとともに、出席者の協力に対し謝辞を述べた。



総会風景

記念講演

# 『世界の構造転換と日本産業の未来』

講師：寺島 実郎 氏

日工販第49回通常総会に引き続き記念講演会が161名の参加者を迎え、羽賀総務委員長の講師紹介があり14時10分より1時間30分にわたり開催されました。

## 講師略歴

早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了。同年三井物産入社。ワシントン事務所長、三井物産戦略研究所所長、三井物産常務執行役員を務め、現在、(財)日本総合研究所会長、多摩大学学長、三井物産戦略研究所会長。TBS系報道番組コメンテーター。



講演会風景



司会 羽賀総務委員長



講師 寺島実郎氏

**講演主旨：**

○世界人口の増

- ・ 人工構造の「都市化」(メガシティ数増大)-食糧とエネルギー問題の深刻化
- ・ 内なる日本の問題
  - 少子高齢化加速、人口増加率の大幅減(2045年までに-16%) 都市部に人口集中、65歳以上人口が4割に向かう
  - ジェロントロジー(gerontology) = 「高齢化社会工学」(高齢者をいかしきる社会システム)が必要となる(定年60歳で100歳まで40年もある)
  - 日本は食糧自給率が38%で日本より低い国はない。1950~70年代に建設された団地の高齢化、世帯構造の変化、問題は都会の高齢化(食糧自給率ゼロ)、田舎は至近距離に一次産業あり

○ネットワーク型発展に向かう世界

- ・ ネットワーク型発展に向かう、Digital Dictatorship(デジタル専制) この言葉は今年2018年のダボス会議で注目された言葉の一つ
- ・ ICT革命の成果で肥大化する金融市場(GAFA(ガーファ)+M)
- ・ 中国への見方もネットワークで捉える(大中華圏)

○アジアダイナミズム

- ・ アジアのGDPが増大
- ・ 中国の減速、ただしGDP規模2018年は日本の3倍近くに
- ・ ASEAN5の堅調な伸び
- ・ インドの好成長持続
- ・ 日本の貿易相手国のシェア推移(アジア圏へ比重移動)
- ・ 貿易構造、物流の変化
  - 貿易構造のアジアシフトに伴う物流の変化(釜山のハブ化)
  - 日本海物流の時代(外貿コンテナ貨物量の伸び率は日本海沿海50%超、全国平均11%)

# 懇親パーティー

平成30年6月4日(月) 16:00~17:50 第一ホテル東京5階「ラ・ローズII」

日工販第49回通常総会、記念講演終了後、来賓及び会員189名が出席し懇親パーティーが開催されました。

宇佐美専務理事の司会の下、会長より挨拶があり、次いで経済産業省製造産業局産業機械課長 片岡隆一氏、(一社)日本工作機械工業会専務理事 天野正義氏より来賓のご挨拶を賜りました。

また、新入会員の佐藤商事(株)(東部地区正会員)の紹介があり、ご挨拶をいただき、続いて日本工作機械輸入協会会長 中川貴夫氏の乾杯のご発声で一同乾杯し、懇談が繰り広げられました。

定刻になり赤澤副会長より中締めが行われ散会となりました。



お出迎え



◇ 来賓ご挨拶 ◇

経済産業省製造産業局産業機械課長  
片岡 隆 一 様

皆様こんにちは。経済産業省産業機械課長の片岡でございます。

工作機械の受注ですがすこぶる良い事は間違いない状況と思います。日工会もリーマンショック前が受注でいきますと最高ペースだったわけですが、2017年度歴年も年度いずれをとっても過去最高となり非常に良いことすくめでございますが、基幹部品等の納期遅れもあって受注がお客様のところで実際の設備として実装されるところまでは少しお時間を頂戴する感じになっているのかと思います。

一方で我々が考えなければならないいくつかの課題があると思っております。国内でいいますと人手不足、少子高齢化により担い手が減少していくということでもあります。その意味で省力化、自動化のニーズは非常に大きなものがあると思います。工作機械は単位時間当たりの加工スキルは上がっておりますが更にあげるとすれば同じ加工法である限りかなり難しくロボットとかその他のものと組み合わせでどれだけお客様の製造設備の効率性を上げることができるのかそういった提案ができるのかということもあるのかと思っております。

また、もう一つ考えなくてはならないもので最近気になっているのが中国でございます。中国も3年程前に製造2025を掲げて、日本、ドイツが得意そうな機械設備等をどんどん国産化を進める中で部素材、或いは製造装置まで国産化するとしておりますが、今のところは必ずしも外資完全排除ではないですが合併等を行う方が明らかに有利になってくるのではという感じで危惧しており、そういう意味ではNC工作機械、ハイレベルのものロボットこれは非常に重要な分野でありましてそれを彼らは国産化してゆくということでもあります。

この10年位をかけて日本の製造業は自動車産



業におんぶにだっことは言いませんがかなり自動車産業に引っ張られる構成になっています。自動車産業がEVを代表とする大きな変化が生じるのではないかとされておりまして。皆様CASEという言葉が聞かれたかと思っておりますが、Cはコネクティビティ、Aはオートノマス（自動運転）、Sはシェアード、Eはエレクトリック（EV化）です。EV化になるだけではなく自動車を作って売って利益の源泉となっている製造業にとってはモビリティがサービス化することによってサービス思考の企業となって利益の源泉が変化してゆくのではないかと思います。

皆様方が工作機械のことをご理解いただいて、かつどういう加工が出来るかということを含めてお届けされた中小のユーザの方はものを創り始めることでもありますので、是非皆様方が時代を先取りした知見を蓄えられたうえで日本の企業がIoT化革命を生きていくために必要な設備機械を提供できるようにお願いしたいということと、またCASEであるとか中国の動きをしっかりと情報として捉まえられていただきたいと思います。

皆様方がIoTの先陣でございますので、益々のこの1年間のご活躍を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

本日お集まりの皆様のご活躍ご健勝と、企業あるいは団体のご隆盛、さらに業界と協会の更なる飛躍を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。本年度もどうぞよろしく願いいたします。

◇来賓ご挨拶◇

(一社)日本工作機械工業会専務理事  
天野正義様

ご紹介賜りました日工会専務理事の天野でございます。本日会長が参る予定でございましたが所用により私をご挨拶をさせていただきます。

平素は工作機械メーカーの製品販売に特別なご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

最近の受注状況についてお話する予定でございましたが、富田会長、片岡課長からお話された通りでございます。非常に活況を呈している状況でございます。年初に私どもの会長が受注見通しを発表しましたが見通しを上回るペースで推移しているということでございます。この受注につきましては日工販の皆様のご尽力が大きく寄与しているところでございます。あらためて御礼を申し上げたいと思います。

一方で世界を見ておりますと地勢学的なリスクの顕在化が益々最近クローズアップされておまして、市場環境につきましては好調の中に脆弱さを秘めたものと思われまます。

基幹部品の供給がクローズアップされてきておまして、世界のものづくりの発展に貢献していくためにサプライヤーの皆様と綿密に連携してユーザーの皆様への供給責任をしっかりと果たしていくことが必要と思います。

日工販さんと私どもの関係でございますが非常にいい関係を持たせていただいております。それぞれのレベルでの交流をさせていただいております。引き続きコミュニケーションをよろしく願い申し上げたいと思います。

現状認識の部分でございますが、IoT、EV化への対応がありますが、更に考えなければならない少子高齢化社会の中での技術、情報、人材が一



体となった総合的なスタッフの展開等問題意識をもっております。日工販さんも同様かと思っておりますので私どもの事業との連携を取りつつ進めてまいりたいと思っております。

いずれにしましても、日工販さんの皆様方が築き上げられてこられました販売網やノウハウがあってこそ日本の工作機械をユーザに円滑に供給していくことができるわけでございます。

私どもは日工販さんとの連携を一段と強化しユーザ様に貢献してまいりたいと存じます。日工会は最大のイベントであります11月のJIMTOF2018を世界トップの技術ショーとして成功に導きたいと思っております。

最後になりますが、日工販さんの一層のご発展とご出席の皆様方の益々のご健勝ご繁栄を心から祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。





司会 宇佐美専務理事



中締め 赤澤副会長



新入会員紹介  
佐藤商事(株) 上席執行役員 内田秋夫氏



乾杯 中川貴夫 日本工作機械輸入協会会長







# 分かりやすい話題の技術

Inteligible Recent Technics ★

No.158

## 最新機種と工程集約事例の紹介



オークマ(株)  
技術部 大口技術二課  
神谷 豪士

### 1.はじめに

次世代の工場「スマートファクトリー」では超多品種少量生産においても量産加工並みのコストと生産性が求められ、多機能な複合加工機による工程集約のニーズは高まるばかりである。当社ではこれらの要求にこたえるため、専用機で行っていた加工工程を複合加工機に取り入れる工程集約や、生産形態の変化に柔軟に対応するシステムの提案を行っている。以下に最新の機種、事例を紹介する。

### 2. 超複合加工機“LASER EX” シリーズ

次なる「ものづくり革命」のコアとなるスマートマシンとして開発された超複合加工機。除去加工である切削に加え、最先端のレーザ技術を応用した金属積層造形、コーティング、焼入れにより、素材から製品までを一台で完結することができる。搬送や段取及び生産管理に要する時間を大幅に短縮、削減し、生産性向上に大きく寄与する。

5軸制御立形マシニングセンタの“MU-V”シリーズと複合加工機の“MULTUS U”シリーズにて仕様展開を行っている。

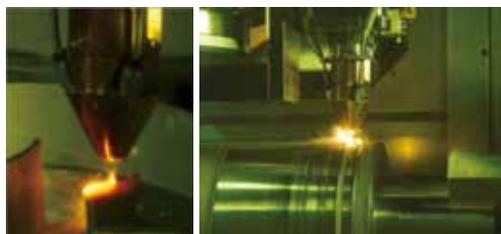


図1. 超複合加工機 LASER EXによる金属積層造形



図2. 超複合加工機 LASER EX  
(MU-VシリーズとMULTUS Uシリーズ)

### 3. 5軸制御立形マシニングセンタ“MU-S600V”

最小限のスペースで高い生産性を実現する幅1,400mmのコンパクトな5軸制御立形マシニングセンタであり、機械を横並びにした際にはテーブル同士でのワーク搬送が可能。コンパクトでシンプルな無人化・自動化ラインを実現し、生産数の変動に合わせて一台から複数台の連結まで容易に組替えを可能としている。



(単体)

(2台連結)

図3. 5軸制御立形マシニングセンタMU-S600V

### 4. 横形並行2スピンドルCNC旋盤“2SP-2500H”

量産加工における最高の生産性を得る横形並行2スピンドルのCNC旋盤であり、軸構成の見直し、ビルトイン主軸の採用にて、高剛性と高精度を両立。従来の2倍の出力を持つ回転工具主軸を備える等、生産性の向上も図っている。また、ワークを搬送する機上走行ロードの走行軸の早送り速度を従来比で最大150%、サーボ駆動のハンド旋回機構の採用で高速化を図り、サイクルタイム短縮を実現している。



図4. 横形並行2スピンドルCNC旋盤2SP-2500H

### 5. 複合加工機による歯車加工

現在、専用機で行われている歯車加工を複合加工機にて対応するため、スカイビング加工やホブ加工を行う仕様“ギヤ加工パッケージ”を提供している。歯車加工を取り込むことで旋削、ミーリング加工と歯車加工をワンチャッキングで行うことができる。さらに、対向主軸(第2主軸)を持つ仕様では表裏加工も可能となる。これらのソリューションにより、これまで複数の機械を必要とした加工を1台の機械で完結させることで、加工精度、生産性向上を提案している。



図5. スカイビング加工

### 6. おわりに

IoT技術の進歩によって発展する次世代のものづくりにおいて、市場が求めるニーズは今後さらに多様化することが予想される。当社ではそのニーズをいち早く製品や加工技術に適用することでお客様にとって最適な「ものづくりサービス」を提案していく。



図6. 対向主軸(第2主軸)仕様の複合加工機MULTUS U3000

### 参考文献

- 1) 山本 誠栄：次世代型超複合加工機「LASER EX」シリーズ、「機械技術」第65巻、第3号(2017年3月号)、P.16~P.17、日刊工業新聞社
- 2) 川崎 浩二：多品種少量生産から量産まで生産形態の変化に柔軟に対応する5軸制御マシニングセンタ、「機械技術」第66巻、第6号(2018年5月号)、P.38~P.41、日刊工業新聞社
- 3) 生方 洋平：NC旋盤、5軸複合加工機による歯車切削、「ツールエンジニア」Vol.58、No.11(2017年8月号)、P.23~27、大河出版



## リレー随筆



黒田精工(株)  
機工・計測システム事業部  
第1営業部営業課課長

**塚田直樹**

皆さまこんにちは。この度、株式会社カネコ・コーポレーションの生井様よりリレー随筆のバトンを受け取りました、黒田精工株式会社の塚田と申します。

今年は平昌オリンピック、そしてサッカーワールドカップと大きなスポーツのイベントが続きます。この随筆が掲載される頃にはワールドカップの決勝戦が行われる頃だと思えます。今回はどの国が優勝するのか、日本がその決勝の舞台に登ってくれたらいいなあ、と胸躍らせながら書いております。

さて、私ども黒田精工株式会社はボールねじ、金型など様々な事業を行っております。私はその中で主に平面研削盤を製造・販売している事業部に在籍し営業職をしております。

以前はこの業界とは全く関係のない世界に身をおいておりましたため、この会社に入った頃感じた習慣の違いなどは今でもよく覚えています。

PC、スマートフォンなどITツールが普及し、いつでもどこにいても世界中の情報が自由に手に入るようになり、私は営業職というものはどんどん無くなっていくものだと思っていました。しかし、この世界に入ってその考えは誤っていることに気がきました。世の中に溢れている情報は全て正しい訳ではなく、時には悪意ある者がニセの情報を発信することも自由だからこそ、我々営業マンはお客様に正しい情報をお伝えしなければなりません。また、お客様に情報を聞いて頂くには自らが信頼される人間にならなければなりません。信頼関係は一朝一夕で構築できるようなものでは無いため、様々なタイミングで出会った方々と誠実に向き合い、信用を積み重ねていくことだと感じています。

お恥ずかしいエピソードですが、私が入社間もない頃、初めてご注文を頂いたお客様に平面研削盤を納入した際、私の打ち合わせ不足と機械の不具合が重なり、お客様に大変なご迷惑をお掛けしました、それも1度ならず何度も何度も。当たり前ですがお客様は烈火の如くお怒りで、私はその度にお客様へお詫びに行き、時には検証のため三日三晩徹夜で機械の動作確認を行いました。今思い出しても何回、いや何十回通ったでしょうか、数えきれないくらい訪問しました。すると最初は烈火の如くお怒りだったお客様も次第に打ち解け、お茶を頂くようになり、休憩時には駐車場で一緒にラジコンをしたり、時には美味しい蕎麦屋さんがあるからと言って車で片道2時間かかるところまで連れて行ってご馳走までして下さるようになりました。納入した機械も何とか正常稼働し、他の機械装置についても色々教えて頂きました。今でもその頃に教えて頂いたことが当社の機械に活かされています。それから十数年経ち、私が転勤した今でもそのお客様は展示会などがあればわざわざ当社まで足を運んで下さり、当時の思い出話に花を咲かせます。良くも悪くもこのような経験が出来る仕事にやりがいを感じ、これからも続けていきたいと心から思っています。

今回はユアサ商事株式会社の中山様にバトンをお渡しします。中山様、宜しくお願いします。



## 私の転機

日本産商(株)  
営業部第一営業グループ次長  
**船 井 慎 也**

「十年一昔」と言いますが、早いもので、リーマンショックから10年を迎えようとしています。リーマンショックが全世界経済に与えた影響は多大なものでしたが、私にとっても、社会人生活18年の中で、一番の転機になったと言っても過言ではありません。

弊社も例外なく、受注売上の低下に伴い、多数の自主退職者が出ました。私自身の同僚及び、直属の上司も、このタイミングで退職をし、正直な処、私自身も退職を考えておりました。

そんな中、当時の会長（現相談役）から、「直属の上司が退職することに伴い、上司が担当していたVIPお取引先を担当してほしい」との話がありました。引継ぎ期間としては2日間しかない状況でしたが、会長自身が、色々フォローをしてくださるとのお話を伺い、この件を引き受けました。

それと同時に、役職が上がり、直属の部下を持つこととなりました。それまでは、常に自分の事だけに執着し、運よく数字も上がっていたこともあり、自分一人で仕事をしている思いも、一匹狼的な考えを持っておりました。そして、どちらかという社内でも、孤立していました。その人間が部下を持ち教育をすることとなり、とても悩んだのを覚えております。ただ、この時点で同時に2つの大きな課題が、転がり込んできました。

一番の課題は、直属上司が長年担当してきたVIPお取引先を引き継ぐことでした。最初の一年間は、本当に辛かったです。何か問題が発生した場合、直属の上司がいない分、直ぐに会長を出すわけにもいきません。ましてや、就任直後の社長には、荷が重い話が多く、頼るところがありません。色々な問題について、できる限り会長に頼らず、必死に対応をしていたのを覚えております。ただ、私自身の後ろには、常に会長がおられるとの思いがあったので、頑張れたと思います。時には、会長に同行いただくこともありました。同乗の車中では、お客様や物事の考え方、営業手法他、全てが貴重なお話で、50年の営業ノウハウを伝え引き継ぐ使命を感じ、成長をさせていただきました。

一番心に残った言葉は「『俺が..俺が..』の我を殺せ」です。これは、今でも実行する努力をしております。

もう一つの課題は、部下を持ったことです。今まで社内で孤立をしようと思っていた人間が、部下に対してすんなりと接することはできず、とても悩みました。色々な本を読んでみても、中々答えも見つかりませんでした。その時に色々ヒントを頂いたのが、担当させていただいているユーザー様の経営者の方々でした。今までの成功体験、苦労話を色々聞かせていただき、私自身の考え方をかえていただきました。全ての事柄においてそれぞれの役割があり、自分一人で事をなしているわけではありません。仕事も一緒です。会社の看板があり、事務の方に協力を頂き、初めて営業の仕事をしていただいている。周りの方々に感謝する気持ちを持ち続けることが必要だと気付かせていただきました。私の考え方も変わり、部下に対する接し方も、楽になりました。色々ご教授頂いた方々には、感謝しきれません。

会社にとって、上司の退職はとても大きな出来事でしたが、私にとっては、自分自身を振り返り、成長させていただくことができたと思います。その背景には、私を信じていただき任せていただいた会長、社長及び、色々ご教授頂いた方々があり、感謝しても感謝しきれません。今では、会長の営業方法を一番受け継いでいるのは自分自身であると自負しております。

弊社の社長は、女性ですが、とても行動力があり、従業員を信じていただける、とても良い社長です。自分自身が受け継いだ会長の考え方と女性社長の新しい考え方をミックスして、社業発展に寄与できるよう、日々努力を続けていこうと思います。これが、会長への恩返しであると信じています。

# 感動したスポーツの名場面

菊池 健司

最近感動したスポーツシーンは、昨年になります。ゴルフのマスターズ最終日マットクチャー選手がホールインワンしたボールを拾い上げサインしグリーン横で観戦していた少年に渡した時です。世界的なゴルフの大会で何のためらいもなくゴルフファンの少年に渡したクチャー選手の人柄に感動し、その時の幼い少年の興奮を思うと、優勝という結果に感動するのはまた違った“少年に夢を与えるスポーツの素晴らしさ”を改めて感じるシーンであった。

そして更に、今話題の大谷翔平選手（エンゼルス）もそうです。試合前の打撃練習を終え、ファンサービスでサインをしていた際に、6歳のロイヤルズファンの少年にバットが欲しいとお願いされた。それを聞いた通訳は思わず苦笑いし、とりあえず大谷選手に伝えるも、冗談っぽく「あげねーよ」と笑っていったんベンチ裏に下がってしまった。バットは簡単にプレゼント出来るものではない為さすがに仕方ないと思いきや、再びグラウンドへ戻って少年にサイン入りの黒のバットを渡した。この大谷選手の思わぬ神対応に周りのスタッフ、記者も感激したそうです。

他の選手以上に忙しいスケジュールを過ごしている試合前に、野球好きの小さなファンに優しい心遣いを見せた大谷選手。先ほどのクチャー選手と同様、“少年に夢を、大人に感動を与えるスポーツの素晴らしさ”に感激しきりです。

我々の業界もこの事を胸に……



(株)三機商会 営業部次長



## 『「言葉にできる」は武器になる』

著者：梅田悟司（日本経済新聞社）



ユアサ商事(株)  
関東工業機械部  
朱 焯

「言葉にできなかつたり、うまく言えないのは、言葉にできるほど考えていないからである」という件があるが確かにその通りだと思う。「頭の中で考えているだけでは本当に考えていることにはならない」、人に伝えるということはトレーニングが必要だと…「まずは自分の中にある課題を設定し書き出してみる」とあり書き出すことで頭の中が整理され、必要なものとそうでないものを分類することができる。昨今ネット現代社会では他者と議論するなどの風潮ではなく会話というトレーニングの機会が減ったことにより「人に伝える」ということに不安をもっている人も増えたと思います。まずは「自分との対話」が大切で「頭の中に浮かんで消える言葉を捕まえる」習慣を身に付けることそしてその言葉を「可視化すること」で思考が磨かれていく。考えることのトレーニングの大切さを教えてくれました。

たった一人に伝わればいい。が、いまの私にはグツとききました。

言葉にすると、内なる言葉と向き合うこと。そのための時間を確保する。これ、事業タスクだなど。だからなかなか出来なくて、だから難しい。だんだんと人前で話すことも増えてきた。いかに理解してもらうか、注目してもらうか。そして、いかに楽しんでもらえるか。日本語の飛び交う中で、思ったことをきちんと表現できることの大切さがよくわかりました。

どうしても頭で考えてしまい、紙に書きだすことは面倒くさく感じてしまいましたが、紙に書きだしてみるとの重要性を認識しました。書き出してはじめて気づくこと、頭で考えていても、実際に書き出してみると言葉にできないことが多々あるので、「内なる言葉」を紙に書きだし、「内なる言葉」の磨き上げを実践していると思います。

大切なのは、自分の考えや思いを把握していることである。その内容を伝えるためには、難しい言葉も、耳ざわりのいい言葉も、美しい言葉もいらない。人の心を動かすのは、話しをしている本人の本気度や使命感であり、生きる上で感じてきた気持ちを総動員された体温のある言葉なのだと思います。

人は考えが浮かぶ時、言葉で疑問を持ち、言葉で考え、言葉で納得できる答えを導き出そうとしています。こうしたあらゆる「考え」という行為において、発せられることのない内なる言葉を用いています。

「内なる言葉」を「外に向かう言葉」にどのように変換していくか「外に向かう言葉」へ変換する際には、磨き上げた「内なる言葉」つまり、思いをさらけ出す必要があるといえます。

思いをさらけ出す際には、日本語の「型」を知ること、言葉を生み出す「心構え」を持つことが必要だと書かれています。

この本を読んで、今の自分に足りないものが、少し分かった気がします。

# 議事録から

## 第274回 定例理事会

日時：5月9日(水) 12:30～15:00

場所：名古屋安保ホール101会議室

出席者：会長、副会長3名、専務理事、  
理事27名、監事2名、事務局1名

### 【付議事項】

#### (1) 総会議案の件：

- ①平成29年度事業報告案と決算案について：  
4月26日に増田公認会計士より監査が行われ三橋監事が監査に立ち会い決算結果が適正且つ問題がない事が確認されたこと専務理事より報告。  
一般会計及び教育事業特別会計の決算報告は第1号議案として総会付議が承認された。
- ②平成30年度事業計画案並びに予算案について：  
一般会計及び教育事業特別会計の予算案は第2号議案として総会付議が承認された。
- ③第3号議案  
退任される高林副会長の後任には三菱商事テクノス(株)依田理事を副会長候補として総会に付議することが承認された。
- ④平成30年度事業計画(案)に記載の事業方針、事業内容について総会に付議することが承認された。

### 【報告事項】

#### (1) 流通動態調査1及び流通動態調査2平成30年3月結果

専務理事より報告。3月は日工会発表によると受注1,828億円と過去最高額で、内需も755億円と26年6カ月振りとのこと。2017年度の受注額は1兆7,803億円と史上最高額と

なった。日工販会員38社の受注報告415億円はリーマンショック以降初めての400億円超えとなった。3カ月に一度調査を行う流通動態調査2については1月調査結果に対し4月調査結果では工作機械全体の見通しではマイナス10%以上下降という見通しが初めて現れこの見通しの原因の一つとして納期が長すぎて受注が厳しいという回答があった。それぞれのカテゴリも今回はマイナス5-10%弱含み低調が前回に比べ目立っている。

#### (2) 委員会報告

- ①東部地区委員会：  
藤井委員長より報告。4月18日に委員会を開催し今年度の事業計画を打ち合わせた。7月17日に研修会予定、内容については6月初旬に決定。8月30日に情報交換会を開催。10月16日に製品研修会を開催。10月25日に懇親ゴルフ会開催。12月7日に忘年懇親会開催、講演会講師は予算があるので有名人を考えている。来年2月21日、22日に工場見学会を予定。場合によっては1泊2日ではなく1日だけの見学会を考えている。来年3月4日に第2回情報交換会開催予定。
- ②中部地区委員会：  
高田委員長より報告。3月19日井高本社にて会員懇談会を開催。参加社数は19社、24名。景気は良いという報告が多いが納期の長期化により売上の問題と受注が厳しくなってきたのが懸念材料。また働き方改革により様々な面で我々としてやりにくい部分が出てきた。その後16社22名で会食会を行い和気あいあいと時間を

忘れるくらいの中身の濃い会合だった。今後の予定については6月12日に正副懇談会を開催し決める予定。昨年度は10事業開催したが今期も10事業開催を考えている。

### ③西部地区委員会：

植田委員長より報告。3月14日に江坂東急ホテルにて期末の情報交換会を開催。懇談会は32社49名の参加。3月の決算状況は非常に良いが納期問題により売上が未達になりそうだという意見が多かった。懇親会は30社48名の参加があった。景気の良い時なので非常に楽しく和気あいあいといった懇親会だった。今後の予定については5月21日に打合せ予定。西部地区は頂いた予算に対し少々未達だったので今年度は頑張っ て予算オーバーしてお叱りを受けるくらいの事業活動努力をしたい。

### ④調査広報委員会：

高林委員長より報告。3月15日に日工販事務所会議室にて開催。委員5名、事務局2名の出席。日工販ニュース発行は今年度も5回、大きく変わった点は今年度よりカラー版となり特に『私の好きなお店』コーナーでは自慢の料理が鮮明に紹介出来る。『ひとくち豆知識』コーナーでは今迄調査広報委員が順番に寄稿してきたが出尽くし感あり今年度は7月号よりメーカー賛助会員にご寄稿をお願いすることにした。予算としては昨年度並みとした。

### 会長より：

先程の政策委員会にて取り決めたリクルート用のDVDを調査広報委員会に制作をお願いすることにした。リクルート用DVDは今から10年ほど前に日工販にて制作した経緯がありだいぶ古くなったので、学生に専門商社としての販売活動紹介には扱う商品にも変化があり最新版を作成することになった。前回

の製作費等次回理事会にて報告し特別予算として取り進めたい。

### ⑤教育委員会：

池浦委員長より報告。3月22日に委員会を日工販事務所会議室にて開催し今年度事業について話あった。委員7名、事務局2名の出席。活発な事業活動をしておりSE資格取得者は昨年度106名、累計3,308名となった。昨年度の受講生については、基礎講座は定員いっぱいの120名、SE講座は127名、更新研修は80名、永世SE手続き者が94名。

### インターモールド2018：

赤澤副会長より報告。4月18日から21日までインテクス大阪においてインターモールド2018が開催された。期間中にシンポジウムが開催されパネラーとして参加を依頼され西部地区担当副会長として出席した。金型工作機械業界シンポジウムのテーマは『関西の金型工業会の現状と今後を検証する』ということで、このままでは抽象的過ぎるので事前に話題を絞ろうということで、与えられたテーマが“EV化と自動運転となりどの様な部品が無くなり、どの様な部品が増えて金型業界にどの様な影響を及ぼすか？また、こう云った状況に対して人材をどの様に確保してどの様に教育してゆくか？”であった。パネラーとして私を含め金型工業会会長の牧野氏、副会長の山中氏、専務理事の中里氏の4人でパネルディスカッションを行った。総合司会は元型技術協会の前川氏が務め約1時間ほどのシンポジウムであった。日工販としては三地区で開催した勉強会の話と人材教育に関しては27年ほど前からSE教育に力を入れていることを話した。私以外のパネラーは技術の専門家故、技術面には触れず日工販副会長として日工販のPRに努めた。

## 西部地区 正・副会員懇談会

日 時：5月21日

場 所：石田寿し

参加者：13社、15名

議題：「本年度日工販西部地区年度スケジュールについて」、「現状の市況情報交換」

### ①本年度のスケジュールについて

・7行事を行う事に決定。

5/21 正副懇談会（石田寿し）

6/21 西部地区懇親 GOLF コンペ（センチュリー三木 G.C.）

9/26 研修会を実施予定・講師未決定。（大阪産業創造会館）

講師の先生について話し合いを行い、ロボットなどのシステムインテグレイト的な内容も良いのではとの意見も出た。

また工場見学会の訪問先の検討を行った。

10/10 JIMTOF2018の出展機メーカー製品研修会（大阪産業創造会館）

12/5 西部地区忘年会（新大阪江坂東急 REI ホテル）

講演会先生は宮脇機械プラント(株)宮脇会長に紹介依頼。

1/未定 新春時局講演会（大阪産業創造会館）

講師を新たにとの意見もあり検討。

3/未定 西部地区情報交換会（新大阪江坂東急 REI ホテル）

### ②市況報告会

殆どの会社が3月末に決算を迎え、新期に入られている中、基本的に受注は順調な傾向、売り上げに関しては、各工作機械メーカー様の納期がまだまだ長期化傾向が続いており、苦戦を強いられる。現状お客様の投資意欲に水を差さないか？懸念される。

全体的に2018年は順調に推移するのではないかという意見でまとまる。

その中でロボットを使った生産効率及び製品の安定化の提案については好調。

また、大型の機械引き合いも好調。半導体製造装置業界においては半導体を含め変わらず好調。

不安材料は・機械の納期・人材不足・労基関連による働き方改革での人件費への影響・中古機市場の不足があげられた。

その後、懇親会に入り各会員会社様での情報交換など、和やかに楽しく有意義な時間を過ごし、赤澤副会長の中締めにて終了。

## 中部地区 正・副会員懇談会

日 時：6月12日(火) 13:00~15:00

会 場：(株)井高 本社5階 会議室

参加者：24社、24名

### 懇談概要報告

#### 1. 開会挨拶と日工販総会報告

高田委員長より挨拶があり、第49回通常総会について議事全てが承認され副会長が交代された旨の報告があり、記念講演の報告があった。

#### 2. 30年度中部地区行事計画と進め方についての意見交換

30年	8月	【技術勉強会】	
	9月 1日	【懇親ゴルフ会】	
	9月	【講演会】	トヨタ自動車様にお願いを予定
	10月	【製品勉強会】	JIMTOF 出展製品を対象に開催を予定
	10月	【若手営業マン研修会】	前年に引き続き Part3 として開催
	11月	【工場見学会】	多様の候補が挙げられ検討を進めることとなった。
	12月 6日	【講演会、忘年会】	講師・メーカー代表の推薦
31年	2月	【正副懇談会】	

#### 3. 意見・情報交換

各社から現況の報告、問題点等が述べられ、要旨を取りまとめて記します。

日工会受注5月は一旦減となり1兆7千億円は望めるものの2兆円への到達は難しくなった模様。

前回は情報交換された時短、人のやりくり、交通事故などについて再度情報交換がされました。

時短～産休絡みの調整は大変難しく、各社の多様な実情が多数交換されました。又、営業車両の運用についても多様な状況の報告があり、また管理運用～賞罰までについて実情が交換されました。

尚、各社業況につきましては、今回特筆すべきものはございませんでした。

最後に、今年度の開催行事に関してご協力と積極ご参加の願いで締めくくられました。





## 平成30年度 SE 教育「基礎講座」実施報告

第26期「基礎講座」が日本工業大学で開催されました。今年度はご参加予定アンケート実施時に定員オーバーの状況となりました。

実習の関係から60名で2回の開催実施となり、受講へのご希望に沿えさせていただけなかった会社様には深くお詫びを申し上げます。

受講生におかれましてはここで得られた成果を今後の営業に生かされますようお願いいたします。

開催日：第1回 5月29日(火)～31日(木) 受講生60名

第2回 6月21日(木)～23日(土) 受講生60名

会場：日本工業大学学友会館・工業技術博物館・機械実工学教育センター

### カリキュラム

第1日：工作機械の概要、業界の現状を受講後、工業技術博物館で動態展示工作機械類等を見学。その後機械工作センターで現在のNC旋盤、マシニングセンタ、放電加工機、5軸複合加工機等を見学。更に立形マシニングセンタによる加工実演を見学(第2回目のみ)。

第2日：午前中、「工作機械の要素、切削理論、加工物材料」を受講。午後は実習講師のもと、旋盤、フライス盤、ボール盤、測定、キサゲ・ヤスリ仕上げ作業の5工程の実習。

第3日：午前中は「プレス加工とプレス機械の基礎」を受講。午後は「生産材売担当に期待すること」及び、「工作機械業界の過去、現在、未来」を受講。

(第2日・第3日の午後は講義グループと実習グループに分かれて交互に実施。)



実習要領の説明



講義風景



フライス盤実習



キサゲ作業



ボール盤実習



マシニングセンタ加工実演



旋盤実習



測定の実技

日本工業大学のご協力を得て実機による実習を体験され、工作機械の理解と親しみをかなり深められたと思います。受講生各位には会社へ戻られて今後それぞれの分野で活躍されますとともに近い将来日工販SE資格の取得に挑戦されることを切に希望いたします。

当講座の開催にあたり、多大なご協力をいただいた日本工業大学工業技術博物館館長の松野教授をはじめご指導をしてくださりました講師の皆様紙面を借り心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



## 平成30年度「SE講座」・「更新研修」講師 打ち合わせ会

日 時：6月27日（水）15：00～16：30

場 所：専売ビル3階 日工販事務室会議室

出席者：SE講師8名、更新講師3名、事務局2名

### 議 題

#### 1) 30年度講座集合教育日程・開催場所

SE講座： 10月 4日～ 6日（大 阪）	JEC日本研修センター江坂
10月11日～13日（東 京）	専売ビル8階ホール、13日は田町スクエア6階会議室
10月25日～27日（名古屋）	マザックアートプラザオフィス棟4F
更新研修：11月 9日～10日（名古屋）	マザックアートプラザオフィス棟4F
11月16日～17日（東 京）	専売ビル8階ホール

#### 2) 29年度SE教育、SE講座・更新研修結果報告

29年度は教育委員会委員会にて計画とした受講生に対し基礎講座（計画120名、実績120名）、SE講座（計画130名、実績127名）、更新研修（計画70名、実績84名）の状況。

#### 3) 29年度講座アンケート報告

今後講義のテーマとして、IoT、3Dプリンタに関する最新情報・動向の希望があり、IoTは「図面・加工法・切削理論」の講義に盛り込み、3Dプリンタは「特殊加工」の講義に盛り込んでいただくことになった。

その他アンケートについては受講生のレベル等も違っているため、あくまでご参考。

#### 4) 30年度SE講座・更新研修募集要項内容について

##### ①カリキュラムについて

大阪、東京、名古屋会場とも同じカリキュラム。

##### ②SE講座・更新研修募集要項の講座名、ご略歴、講座内容について

7月17日迄に、ご確認いただきご連絡をいただくこととなった。

#### 5) 30年度テキスト・テスト問題改訂について

テキスト・テスト問題について内容変更がある場合は、SE講座は8月10日、更新研修は8月31日迄に、原稿をいただくこととなった。

## 6) ホテル予約先

大阪会場はホテルクライトン江坂、名古屋会場はメルパルク名古屋、東京会場はヴィアイン東京大井町を予約。

## 7) 30年度基礎講座受講者

第1回 5月29・30・31日60名、第2回 6月21・22・23日60名、計120名。

## 8) 30年度SE講座、更新研修受講者について

(一社)日本工作機械工業会の受注予測及び受講生の実績を参考に、計画はSE講座130名、更新研修70名。

# 「日工販SE」認定者(合格者) 第218回 発表

2018年5月・6月の合格者23名です

## 2018年5月合格者15名

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
18-27-3322	伊藤忠マシンテクノス(株)	高井 洋	18-27-3330	昭和リース(株)	吉田 玲
18-27-3323	三洋マシン(株)	増田 正夫	18-27-3331	昭和リース(株)	梶谷 理
18-27-3324	(株)ナチ常盤	松下 拓央	18-27-3332	三菱 UFJ リース(株)	細尾 悠貴
18-27-3325	三菱商事テクノス(株)	渡邊 大地	18-27-3333	三菱 UFJ リース(株)	上村 勇貴
18-27-3326	ユアサ商事(株)関東支社	李 強	18-27-3334	カトウ工機(株)	田中 将太
18-27-3327	サンコー商事(株)	権田 拓男	18-27-3335	カトウ工機(株)	吉田 翔吾
18-27-3328	浜松貿易(株)	竹内 雄太	18-27-3336	(株)タカード	本山 一成
18-27-3329	(株)山 善	秋山 亮			

## 2018年6月合格者8名

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
18-26-3339	(株)山 善	青木 岳斗	18-27-3341	三菱 UFJ リース(株)	森 雄豪
18-27-3337	(株)兼松 KGK	黒坂 浩司	18-27-3342	岩谷産業(株)	矢田 昌志
18-27-3338	(株)テツカ	石橋 智明	18-27-3343	金沢機工(株)	田中 勇輝
18-27-3340	JA 三井リース(株)	沼岡 啓太	18-27-3344	大幸産業(株)	山内 鉄平

## 品質管理の豆知識



(株)ミットヨ  
国内営業推進部 営業推進課  
副主査

小林 博厚

2016年10月に自動車産業の国際的な品質マネジメントシステム規格であるIATF16949:2016が発行されました。IATF 16949では自動車製造業のサプライチェーンにおいて不具合の予防、ばらつきや無駄の低減に重点を置き、継続的改善をもたらす品質マネジメントシステムの構築を到達目標としています。IATF16949において特に重視される技法(コアツール)のひとつで、製造工程において品質保証及び工程の管理・改善のために統計的手法を用いて管理する手法がSPC (statistical process control) です。この中で最も重要な分析手法を2つ紹介します。

### 【工程能力 process capability】

工程能力は、工程の標準化が十分になされ、異常原因が取り除かれ、統計的管理状態で操業されているときに発揮されるその工程固有のパフォーマンスを表します。工程のアウトプットとなる品質特性が正規分布であるとみなされるとき、「平均値±3σ」あるいは「6σ」で表されます。σ(シグマ)は標準偏差です。

### ■工程能力指数 process capability index (PCIまたはCp)

対象となる特性の公差を工程能力6σで除した値をいいます。製品規格が片側にしかない場合、平均値 $\bar{x}$ と規格値の隔たりを3σで除した値で表現することもあります。工程能力指数では特性が正規分布に従うことを前提としています。

<参考> 正規分布に従う特性では平均値から±3σの範囲に99.74%のデータが存在します。

両側規格の場合

$$C_p = \frac{USL - LSL}{6 \times \sigma}$$

USL: 規格上限  
LSL: 規格下限

片側規格... 上限のみ規格がある場合

$$C_p = \frac{USL - \bar{x}}{3 \times \sigma}$$

片側規格... 下限のみ規格がある場合

$$C_p = \frac{\bar{x} - LSL}{3 \times \sigma}$$

Cpは単に許容限界と工程のばらつきの関係を表したものであり、工程平均の位置は考慮されていないことに注意が必要です。

<参考> 規格中心と工程平均のずれを考慮した工程能力指数を一般的にCpkといい、上側公差幅 (USL-平均値) または下側公差幅 (平均値-LSL) を工程能力の半分である3σで除した値のいずれか小さい方の値を採用します。

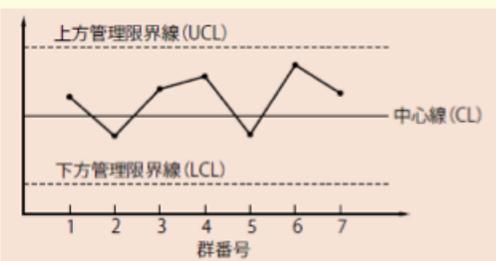
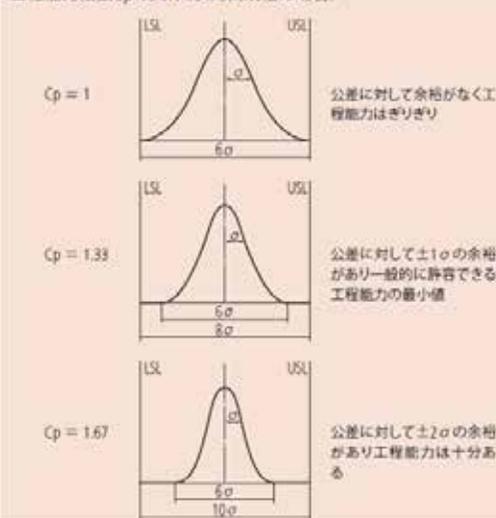
### 【管理図 control chart】

工程における偶然原因によるばらつきと、異常原因によるばらつきを区分して工程管理するものであり、1本の中心線 (CL) と、その上下に合理的にきめられた管理限界線 (UCL、LCL) から構成されます。工程の状態を表す特性値がプロットされたとき、すべての点が上下の管理限界線内にくせがなく並んでいれば、統計的管理状態にあるとみなすことができます。管理図は工程管理用として有益な道具です。

### ■管理図の見方

管理図の点の動きを解釈するために用いる代表的な判定基準を下記に示します。この判定ルールは、あくまでも一つのガイドラインであり、実際に判定ルールを決める際には、工程固有の変動を考慮して決める必要があります。上方管理限界と下方管理限界は中心線から3σの距離にあるとして、以下のルールを適用するために管理図をそれぞれ1σ間隔で六つの領域に分けます。以下のルールはX管理図と $\bar{X}$ 管理図に適用できます。これらの基準は正規分布を前提としています。

工程能力指数(Cp)の具体例(両側規格の場合)



# 私の好きなお店

薄井芳博

## 尾久(おく)駅周辺の旨い店

弊社(株)NaItoは、JR尾久(おく)駅の目の前にあります。

尾久駅は、上野駅からJR高崎線もしくは、JR宇都宮線に乗って次に停まる駅です。

皆さんは、歓楽街の多い赤羽の方がご存知かも…

近くには、レトロ感あふれる荒川遊園地、昔ながらの都電も走っています。

歴史からみますと、この地区は、比較的人口密度が低かったせいで、関東大震災以降工場進出とともに、町工場の多いエリアとなりました。

その名残で、“安くて、ボリューム満点”な店が多数存在しています。

私達社員のランチも、このボリュームに魅了されています。

その中から厳選した2店をご紹介します。



### よしみ食堂

本まぐろ鉄火丼 ¥850

大将が自ら築地で吟味して仕入れる“本マグロ”で、この価格は、大いにお得感があり!!  
ランチは、さらにポテトサラダやお新香の小皿が2皿サービス。



### 魚秀

名物カレーライス(ハムカツ乗せ) ¥610

毎週木曜日は、名物の“カレーの日”になっている。昔ながらのカレーにチョッピリ辛口。基本のカレー¥550に、多彩なトッピングがあり、かつ¥210、コロッケ¥110、ハムカツ¥60と激安。  
ランチは、さらにサラダ、味噌汁付。

#### 『よしみ食堂』

東京都北区昭和町2-7-4

電話：03-6807-6878

#### 『魚秀』

東京都北区昭和町1-6-15

電話：03-3894-6456

(株)NaIto 営業本部ジュニアマネージャー)

## 会社生活に於ける初めての ○○



西川産業(株)  
営業本部課長代理

**大 畑 勝 久**

こんにちは。西川産業(株) 大畑勝久と申します。今年で勤続20年になります。この度、20年の会社生活のなかで経験した初の複合加工機受注の思い出を書かせていただきます。

営業に出て2年目、今まではどちらかと言うとお客様から言われた商品を受注して納品するといった営業をしていました。しかし、なかなか自分の目標数字が達成できず、どうしたら良いか色々考えました。数字を達成するには、大型物件を受注しないと無理と思い、機械を販売しようと決めました。まず、知識がない私は機械メーカーの勉強会に頻繁に参加し、その中でヤマザキマザック(株)製の複合加工機「INTEGREX」に着目しました。この機械は1度のチャッキングで旋盤加工とフライス加工ができるなど、従来は1個の製品を作るのに役割ごとに別々の機械で行っていた加工を1台ででき、工程集約が可能です。また、加工ワークの脱着もないので、製品ごとのバラつきが少なく高精度が維持できるということだったので、私はこの良いことづくめの機械を売ろうと思いました。

資材、現場の方としか面談したことのないお客様でしたが、旋盤、マシニングセンタを十数台所有されていたので、思い切って専務までアポイントを取るために電話をしました。緊張しながらも複合加工機の特長を必死で説明しました。その後、なんとか面談できるようになり、メーカーに頼らず一人で訪問。緊張しましたが、カタログを見ながら機械の説明をしました。伝わったのかどうかわかりませんが、「この機械を見てみたい」と言っただき、後日、工場見学も兼ねてヤマザキマザック美濃加茂製作所に実機を見に行きました。メーカーの方にもきっちり説明して頂き、専務もご納得されて帰られました。

次の日、専務から電話が入り、工場長あてに訪問してほしいという依頼がありました。訪問すると工場長から図面を頂き、「この加工は複合加工機だったらどれくらいの時間でできる？」という宿題を頂きました。また、「自動化もしていきたい」とのことで、ロボットの検討もすることになりました。経験不足の私はよくわからないまま議事録をとり、それをメーカーに伝えることしかできませんでした。打ち合わせを何度も何度も行いましたが、そのおかげで工場長と人間関係を築いているという実感もありました。仕様、価格が決定し、最終段階で工場長から稟議書も見せて頂いて『この書類をもって社長に話してくるわ、必ず通すから期待しといて』と言われ、そこから1週間後、無事に複合加工機の初受注ができました。

専務にアポイントを取ってから約1年、長かったですが自分が成長できた案件だったと思います。あの時、思い切って電話していなければ今の自分はないと、大袈裟かもしれませんが振り返ってみるとそう思います。お世話になった工場長は一線を退かれて名古屋に帰られましたが、大阪に来られるときは今でも食事に行かせて頂いています。

# 海外だより

Makino China Co.,Ltd. 川村 豪洋

私は上海市の北西に位置する昆山市（江蘇省）に住んでおります。同じ江蘇省でも蘇州市や南京市という都市名は、聞き覚えある方が多いと思いますが、昆山市はピンと来ないと思いますので、簡単に紹介させていただきます。

上海市には空の玄関として虹橋空港、浦東空港と2つの国際空港がありますが、昆山市は虹橋空港から車で約1時間、浦東空港から車で約2時間半の位置にあります。昆山市には高速鉄道の駅もあります。高速鉄道を使えば、虹橋空港隣の虹橋駅まで、乗車時間20分弱で行けます。

地理以外の紹介ですと、昆山市は中国を代表する食材の産地として有名です。その食材は「上海ガニ」です。これは海のカニではなく、湖など淡水で取れるカニになりますが、実は上海で収穫されるわけではなく、昆山市の陽澄湖（ヤン・チェン・フー）で収穫されるカニが、「上海ガニ（中国では大閘蟹ダー・ジャー・シエと呼びます）」として流通・販売されているのです。上海ガニというのは、実は正しくは「昆山ガニ」なのです。

さて、私はここ昆山市に在住して4年半を超えました。最近は駐在当初よりも生活がどんどん便利になっていることを実感する日々です。

大きな理由の一つは、「キャッシュレス化」です。街中のほとんどの店のレジ前や壁にQRコードのステッカーが貼られており、支払者（客）はスマートフォンのアプリ「Ali pay」や「Wechat pay」でQRコードをスキャンする、或いはスキャンしてもらうことで支払いが完了します。食事や日用品の買い物に行く際は、財布を持つことが本当に無くなりました。

また、最近ではQRコードが車内に貼られたタクシーも走っております。タクシーに乗ったが、財布の中に100円札しか無く、支払う際に気まずい思いをした経験（2000円のタクシー運賃支払いに1万円札を出す感覚です）が何度もありましたが、アプリでの支払いのおかげで、財布から現金を出す手間も気まずさも無くなりました。

もう一点はライドシェアアプリ「Didi Dache」です。昆山市は地下鉄が走っておらず、交通サービスは「バス」、「タクシー」の2つで、私は初乗り代金が安いことからタクシーを使いがちなのですが、ここ昆山市はなかなかタクシーが捕まらない点が難点でした。しかし、この「Didi Dache」が普及してくれたおかげで、どんなに待っても5分ほどで乗車出来るようになりました。

最近はアプリがどんどん進化しており、乗車予定の車名・色



<タクシー車内のQRコード>

の表示(例: 黒の日産ブルーバード・シルフィ、その車のイメージ絵)や指定した乗車ポイントにどこまで近づいているかマップで表示されます。代金もタクシーより割安、支払いも「Didi Dache」の設定で、「Ali pay」や「Wechat pay」と連動するようにしておくと、アプリ内で支払いが自動完了します。

中国は新しい技術を、まずは使ってみるという発想で、どんどん普及させていく国と言われていますが、上記2点はまさにその典型だと思います。便利な反面、本当に安全性を議論し、法整備がされているか疑問も浮かびますが、そのスピーディな姿勢(判断・決断)は、日本も参考にすべきかも知れません。

日本では体験できないその国の文化・生活を味わえるのが、駐在生活の醍醐味だと思います。これからも異文化に学び、違いを楽しみながら、残りの駐在生活を送りたいと思います。



< Didi Dache 画面 >

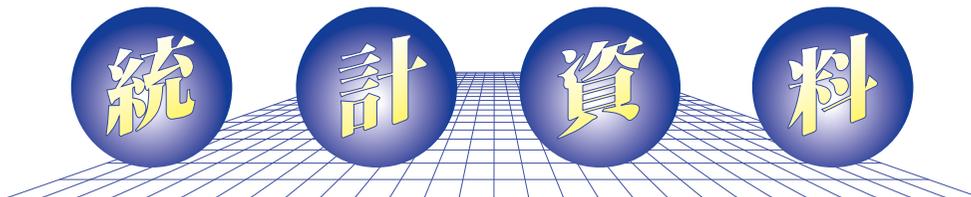
## 工作機械業種別受注額(2018年5月)

6月21日発表

(単位: 百万円・%)

	2017年 01~12月 累計	前年 同期比	2017年 10~12月 累計	2018年 01~03月 累計	前期比	前年 同期比	2018年 01~05月 累計	前年 同期比	2018年 05月	前月比	前年同月比
1. 鉄鋼・非鉄金属	17,778	97.9	4,985	6,004	120.4	150.8	11,724	162.7	3,262	132.7	177.3
2. 金属製品	26,539	116.4	6,901	7,989	115.8	155.4	12,828	130.0	2,228	85.3	86.3
3. 一般機械	259,144	125.1	74,932	73,307	97.8	143.5	124,320	135.6	25,782	102.2	125.8
(うち金型)	27,574	89.6	6,922	6,624	95.7	104.6	11,227	104.7	2,189	90.7	104.7
4. 自動車	201,119	115.0	53,976	63,095	116.9	148.3	107,698	143.3	21,027	89.2	142.8
(うち自動車部品)	139,936	120.6	38,169	41,321	108.3	133.8	72,296	133.2	14,356	86.4	130.9
5. 電気機械	37,082	141.1	11,536	12,075	104.7	174.7	22,809	167.9	3,265	43.7	87.9
6. 精密機械	25,267	128.9	6,251	7,669	122.7	140.3	11,846	119.3	2,451	142.0	96.4
5~6. 電気・精密計	62,349	135.9	17,787	19,744	111.0	159.5	34,655	147.4	5,716	62.2	91.4
7. 航空機・造船・運送用機械	23,840	79.3	5,356	8,394	156.7	143.2	12,089	128.9	1,523	70.1	76.8
(うち航空機)	11,610	70.7	2,288	4,717	206.2	136.1	6,577	134.9	738	65.8	77.8
3~7.小計	546,452	119.3	152,051	164,540	108.2	147.1	278,762	139.6	54,048	89.8	124.4
8. その他製造業	16,396	133.4	4,159	5,201	125.1	138.1	8,453	127.3	1,424	77.9	91.0
9. 官公需・学校	3,083	111.6	1,682	384	22.8	79.8	502	83.7	61	107.0	73.5
10. その他需要部門	11,091	115.7	2,756	2,898	105.2	101.6	5,052	112.3	1,323	159.2	131.0
11. 商社・代理店	8,102	114.4	1,863	2,339	125.6	88.2	3,442	92.6	552	100.2	104.9
1~11. 内需合計	629,369	118.6	174,397	189,355	108.6	144.8	320,763	138.1	62,898	91.8	123.2
12. 外需	1,016,185	141.2	290,662	303,090	104.3	133.6	483,989	124.4	86,346	91.3	109.5
1~12. 受注累計	1,645,554	131.6	465,059	492,445	105.9	137.7	804,752	129.5	149,244	91.5	114.9
(内NC機)	1,616,216	131.9	456,594	485,092	106.2	138.2	791,839	129.7	146,569	91.5	114.7
販売額	1,467,285	114.6	394,003	459,189	116.5	131.9	701,531	129.7	122,733	102.6	120.0
(内NC機)	1,442,889	115.0	387,852	452,007	116.5	132.3	690,744	130.1	120,664	102.2	119.8
受注残高	694,231	132.9	694,231	727,486	104.8	136.8	797,451	132.5	797,451	103.4	132.5
(内NC機)	670,808	132.8	670,808	703,892	104.9	136.8	771,902	132.3	771,902	103.5	132.3

出所 (一社) 日本工作機械工業会



## 工作機械・FA流通動態調査1

統計1

単位百万円

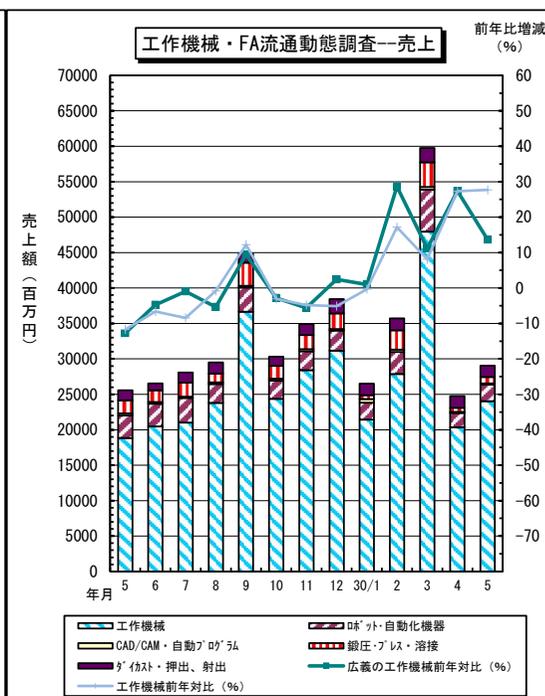
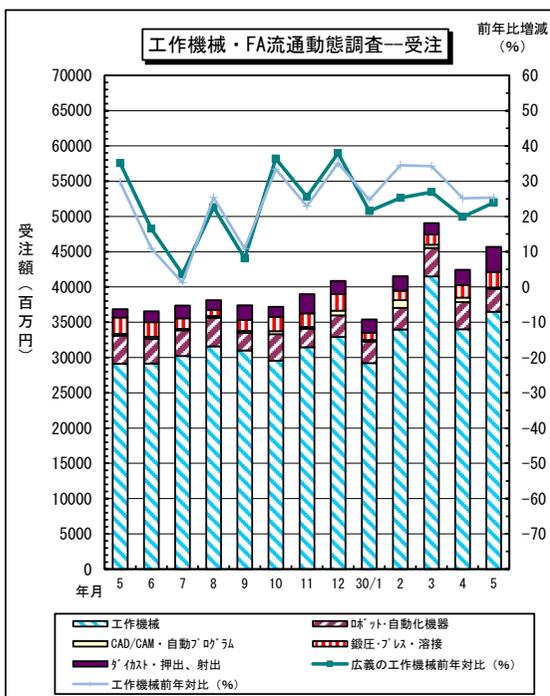
39社合計		受 注					売 上				
調査月次	30/5	前月比	前年比	30/1-30/5	前年比	30/5	前月比	前年比	30/1-30/5	前年比	
広義の工作機械	36,501	7%	25.3%	175,230	28.9%	24,040	18%	27.7%	141,642	13.8%	
ロボット・自動化機器	3,240	-15%	-18.6%	17,187	19.5%	2,337	15%	-26.9%	15,812	30.3%	
CAD/CAM・自動プログラム	186	-71%	-31.8%	2,597	3.6%	147	-15%	-46.9%	1,536	15.2%	
鍛圧・プレス・溶接	2,198	25%	-4.5%	7,815	-33.3%	919	67%	-50.0%	8,168	-11.1%	
ダイカスト・押出、射出	3,567	64%	202.8%	11,276	30.6%	1,611	-3%	13.0%	8,619	53.4%	
小計	45,693	8%	24.0%	214,104	23.6%	29,055	17%	13.6%	175,777	15.1%	
工作機械以外の扱い商品	20,371	1%	13.4%	107,925	20.3%	16,192	7%	28.5%	101,278	21.6%	
合計	66,064	6%	20.5%	322,029	22.5%	45,247	13%	18.5%	277,055	17.4%	
従業員数	1,581	2%	3.4%								

統計2

単位百万円

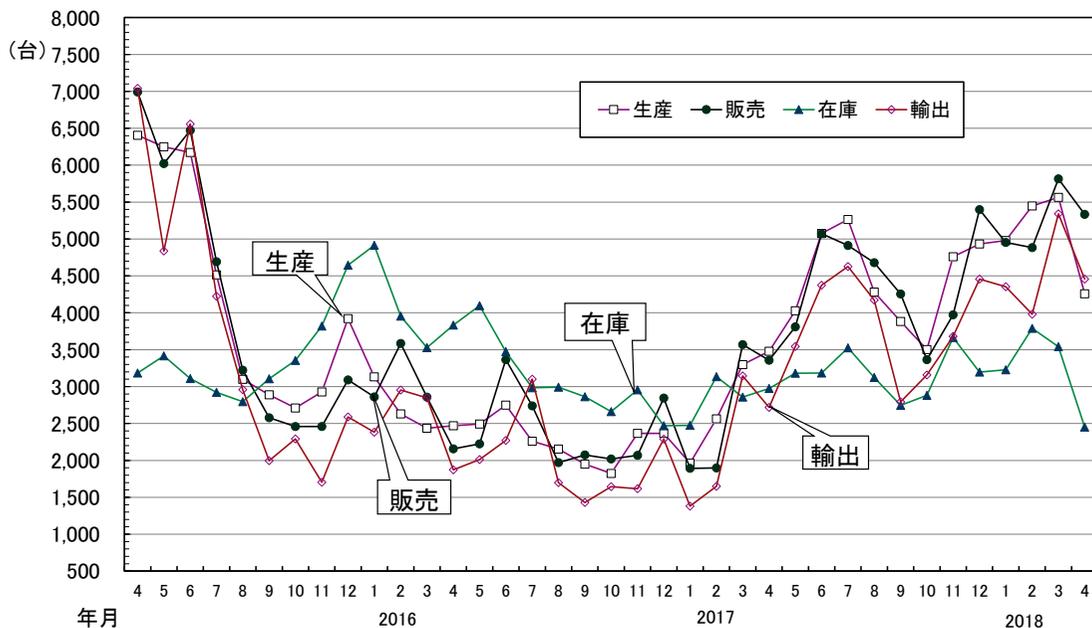
30社合計		受 注					売 上				
調査月次	30/5	前月比	前年比	30/1-30/5	前年比	30/5	前月比	前年比	30/1-30/5	前年比	
直販	29,231	-5.2%	8.0%	152,342	17.7%	20,551	8.6%	12.0%	131,653	17.3%	
(内リース)	1,136	22.7%	19.8%	5,931	20.5%	1,259	122.5%	28.2%	7,065	11.0%	
内訳	12,184	36.0%	25.5%	52,613	26.1%	7,202	21.5%	29.4%	42,054	11.7%	
輸入	1,445	-3.9%	0.8%	8,667	64.7%	1,455	-7.4%	17.3%	8,557	12.6%	
輸出	12,204	21.0%	30.8%	53,566	44.9%	7,242	17.0%	20.8%	44,208	43.5%	
(内間接輸出)	2,637	229.6%	156.8%	8,871	88.7%	1,199	42.1%	84.7%	7,628	37.7%	
従業員数	1,123	2.3%	14.1%								

注：本調査は、20年4月より集計対象会員を見直し、前年分も集計し直した数値と比較した。  
 会員78社中統計1に関しては38社、統計2に関しては29社の回答を得て集計したものである。  
 折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比である。  
 参考までに今月のデータ提供会社総数は41社である。

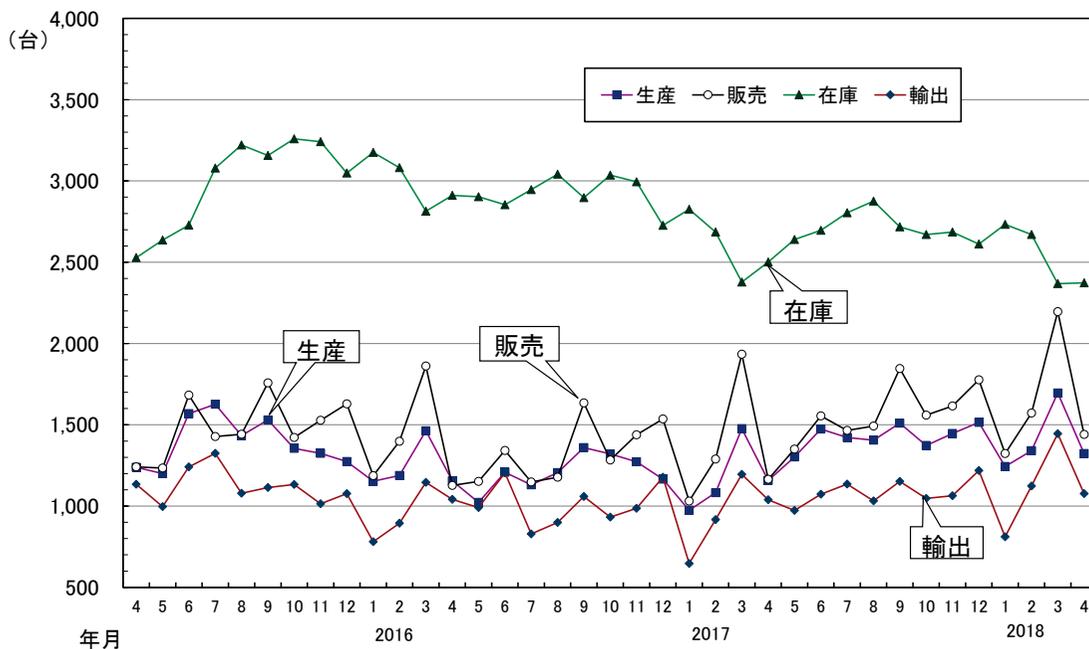


# 見てわかる 3年間の代表2機種トレンド

## マシニングセンタ動向



## NC旋盤動向



出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

## 行事予定

政策委員会・定例理事会	9月5日(水)	大阪・大阪産業創造館
政策委員会・定例理事会	11月8日(木)	名古屋・安保ホール
西部地区講演会・忘年懇親会	12月5日(水)	新大阪江坂東急REIホテル
中部地区講演会・忘年懇親会	12月6日(木)	メルパルク名古屋
東部地区講演会・忘年懇親会	12月7日(金)	KKRホテル東京
定例理事会	平成31年1月9日(水)	第一ホテル東京
賀詞交歓会	平成31年1月9日(水)	第一ホテル東京

## 展示会

IMTS2018 (International Manufacturing Technology Show)	9月10日(月)～15日(土)	McCormick Place, Chicago
JIMTOF2018 (第29回日本国際工作機械見本市)	11月1日(木)～11月6日(火)	東京ビッグサイト

## 編集後記

- メタボ対策のため休日にはよく長距離散歩をします。5月末、東京調布の深大寺周辺を歩こうと思い吉祥寺駅で下車しました。人気の街を眺め、井の頭公園を通り抜け、しばらく歩いて深大寺の参道に入りました。古い木造の建物が並び京都のような雰囲気です。深大寺は厄除大師様で、国宝の釈迦如来像(拝観しなかった)があるそうです。ここは蕎麦が有名で、いくつもの蕎麦処があります。蕎麦前の玉子焼きと胡麻豆腐がビールに良くあいます。鴨せいろが美味しかったです。

隣接地には神代(じんだい)植物園があります。広大な敷地を有する都立の公園です。バラが見ごろを迎えていたようで大勢の方が来園されてました。400種を超えるさまざまなバラ。中にはトゲがなく形もこれはバラなのと思えるようなものが。万歩計の数字が計画を上回ったので、帰路は駅までバスに揺られました。(森田)

- 鬱陶しい梅雨も明けて夏が盛り近くに近づいていく7月。暑くなると食欲も落ち気味ですが、こんなときこそ視覚・味覚・嗅覚も刺激され、栄養価の高い鰻を食べたくなくなってきます。

子供のころは『土用の丑の日』聞いて、夏の暑い日の土曜日に鰻を食べるものと思いこんでいました。そもそも『土用』とは四立(立春、立夏、立秋、立冬)の前、約18日の期間のことであり、“五行”で定められた暦(木行：春 火行：夏 土行：季節の変わり目 金行：秋 水行：冬)と季節の象徴になっています。『丑の日』とは十二支の丑であり12日周期で丑の日が回ってきます。つまり約18日の土用の期間のうち、12日周期で割り当てられている『丑の日』が『土用の丑の日』で、2018年の冬、春を除くとこれから7月20日、8月1日、10月24日、11月5日が『土用の丑の日』になります。

何故夏の『土用の丑の日』に鰻を食べるようになったのかは諸説あるようですが、有力な説は江戸時代、夏に売れなくて困っていた鰻屋が、発明家・蘭学者である平賀源内に相談したところ、「丑の日にちなんで『う』から始まる食べ物を食べると夏負けしない」という風習があったことから『本日丑の日』の張り紙を貼るようアドバイスし、その店が大繁盛して他の鰻屋も真似るようになり土用の丑の日に鰻を食べる習慣が定着したようです。

鰻の旬は冬眠に備え身に養分を蓄える秋から冬であり、夏の鰻は味が落ちるようですが、そんなことは気にすることなく鰻を食べてこの盛夏を乗り切りたいと思います。そして昨年同様、今年もふるさと納税では『某国内産ウナギ』を秋～冬に発注する予定です。(福島)

日工販ニュース Vol.2—2018

平成30年7月15日発行

発行 日本工作機械販売協会  
〒108-0014 東京都港区芝 5-26-30 専売ビル3階  
電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879

編集 日工販調査広報委員会  
委員長 依田智樹(三菱商事テクノス(株))  
委員 君村義人(伊藤忠マシンテクノス(株))  
中村龍二(株トミタ)  
菊池一雄(株ナチ常盤)  
稲垣誠人(三菱商事テクノス(株))  
森田一志(株牧野プライス製作所)  
福島 透(SMFLキャピタル(株))